



Rotary Opens Opportunities

第2540地区 秋田北ロータリークラブ 会報No. 2408

ロータリーは機会の扉を開く

事務所・例会場 秋田市中通1丁目3番5号 秋田キャッスルホテル TEL(833)4147 FAX(831)7301 E-mail:akita-n@lilac.plala.or.jp
例会日毎週火曜日12:30 第5週火曜日18:30

2020.11.17 (火)

第2408回例会

会長の時間

「飲酒について」

会長 藤枝信夫



お酒の1日の適量

日本人の場合は「1日平均純アルコールで20g程度である」 引用:健康日本21

お酒の20g程度とは・・・

ビール(5度)	中びん1本	500ml
日本酒(15度)	1合	180ml
焼酎(25度)	0.6合	約110ml
ウイスキー(43度)	ダブル1杯	60ml
ワイン(14度)	1/4本	約180ml
缶チューハイ(5度)	1.5缶	約520ml

計算式 お酒の量 (ml) × [アルコール度数 (%) ÷ 100] × 0.8
例 ビール中びん1本 500ml × [5% ÷ 100] × 0.8 = 20g

アルコールの吸収と分解

アルコール量:20gが分解されるのに「約3時間」かかります

吸收 胃および小腸で飲酒後1~2時間で吸収されます

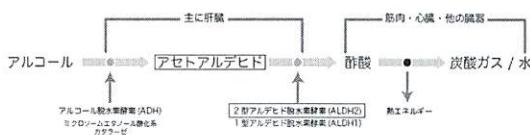
分解 分解は主に肝臓で行なわれ、その後筋肉が主体となります

飲酒後血中濃度は30分~2時間後がピーク

アルコールがすべて無くなるのが、男性でおよそ1時間に9g、女性で6.5g程度

※個人差があり、性別、アルコール分解能、体重などによって異なります

アルコール分解の流れ



◎アセトアルデヒド：二日酔いの原因となる有害物質

顔面や体の紅潮、頭痛、吐き気などの不快な症状を引き起こす

◎2型アルデヒド脱水素酵素（ALDH2）：活性型により、お酒に強いかどうかが分かる。遺伝によって決まります。

活性型 (日本人の60%)	低活性型 (日本人の30%)	非活性型 (日本人の10%)
お酒が飲めるタイプ	飲めるが弱いタイプ	お酒が飲めないタイプ

アルコールの消失速度の要因

① 男女差 平均的に男性の方が肝臓が大きいため速度は速い

② 体の大きさ 体が大きい方が肝臓が大きいため速度は速い

③ 年齢

高齢者と年少者に比べ、中年の人が速度は速い



④ 2型アルデヒド脱水素酵素（ALDH2）の型 遺伝で決まっている 参照ページ

⑤ 酒の飲酒習慣

飲酒を続けると酒に強くなる

アルコールの分解速度が速くなることにもありますが、ほとんどは脳の神経細胞が機能変化を起こし、感受性が下がることで説明される

会員スピーチ

「緊急の政策提言の概要について」

小野泰太郎 会員

コロナ禍の秋田経済の回復と
新しい産業の創出

「持続可能な開発目標」に貢献する
産業の育成を求める提言

新型コロナウイルスは、世の中を大きく変えました。東京の一極集中が大きな課題として浮き彫りになり、社会機能の分散機運が高まっています。

「都市集中経済」から「地方分散経済」に移行する転換期は、地方に公平に訪れている一方、地方間の誘致競争も生じます。デジタルトランスフォーメーション（DX）による社会構造の変化や国のデジタル化推進の中、テレワーク（遠隔勤務）、データセンター（コンピューターサーバーの集積施設）の誘致の流れを本県に呼び寄せるには、速やかな行動が求められます。

こうした情勢を受けて、秋田経済同友会では秋田県の総合的な発展と活力ある産業経済界の醸成に貢献することを目的に、コロナ禍の経済回復に向けた以下の対策、中長期的視点による産業振興の提案をまとめました。

官民連携の県民運動と捉え、秋田経済同友会の各会員も自らのそれぞれのチャンネルを生かし、県外の取引先や縁のある企業への声掛けをはじめ、企業や人材の本県への誘致を後押しして参ります。

I. 東京一極集中から地方へ

～リスク分散で地方再生

1. テレワークを活用した企業と人材の誘致を

コロナ禍で進んだテレワーク、ワーケーションを本県活性化につなげる行動が大切。

県内に出先がある県外企業の本社、支店に呼び掛けて、要望に沿うサテライトオフィスの整備を含めて「秋田モデル」づくりを急ぐべきだ。

そのためには、官民連携による「テレワーク協

2020-21年度 国際ロータリーのテーマ



議会（仮）」を設立し、ターゲット企業へのアプローチを集中させることが望ましい。

2. 誘致する重点産業を早期に選定を

全ての業種に一律に呼び掛けるより、ターゲットを絞ることが大切。

特に以下の視点を挙げたい。

- ①CASE（自動車の次世代技術）など自動車関連の研究開発部門へのアピール
- ②5G（第5世代移動通信システム）を活用した遠隔医療、画像診断分野の誘致
- ③上記のための秋田大学医学部や県産業技術センターなどとの一層の連携
- ④政府がすすめるデジタル化を支えるデータセンターを災害が少ない本県に立地するメリットを協調

3. 秋田県の高齢者減少と首都圏の高齢者施設不足を保険制度改革特区（仮）で推進

現在、東京は高齢者人口が増加し、要介護高齢者の施設整備が喫緊の課題である。

一方、秋田県の高齢者人口は2020年で36万人、2040年で30万人と推計されている。高齢者人口の減少は、高齢者施設に余裕もでき首都圏からの入居の受け入れが可能となる。高齢者の受け入れ自治体が、それまで高齢者が住んでいた自治体に介護保険を請求する制度改革を国に、「高齢者保険制度改革特区（仮）」として提案することで財源不安を解消しマッチングを推進できる。

4. 元気な高齢者が働く「CCRC秋田版」の推進

ロータリーは機会の扉を開く

東京が抱えている課題は高齢者の増加にある。65歳以上の高齢者が300万人を超える、75歳以上の高齢者は160万人に達している。

本県の継続雇用や定年廃止で70歳以上まで働く企業の割合は全国一高い。首都圏で培った知識、体験が豊富な元気な高齢者の活躍できる場を提供することが秋田の地方創生につながる。

II. 秋田の強みを活かした産業の創出と支援

1. 再生可能エネルギーの推進により余剰電力から水素社会へ

持続可能な開発目標に貢献するために推進している本県の再生可能エネルギーの計画は、2020年7月の国の促進区域の指定により一層拍車がかかると想定できる。再生可能エネルギーの電源構成比率で、洋上風力発電の占める割合は非常に高いものになる。その中において、送電網に乗らない余剰電力を効率的に活用し、水素を製造する実証実験を同時に進めるべきだ。

洋上風力の先進県秋田こそ、水素エネルギーの利活用を積極的に推進し、再生可能エネルギーの日本一、世界一を目指してほしい。

2. 風力発電事業における人材育成

洋上風力発電のオペレーションとメンテナンス(O&M)事業については、県内の大学、高等専門教育機関に風力技術に関する専門研究者を誘致し、企業と連携しながら研究開発と人材育成を合わせて進めるべき。ローン、AI技術を利用したメンテナンス技術の開発など、洋上風力先進県として高度技術の人材育成を目指してほしい。

3. デザイン監修者が参画する景観づくりを

風力発電はその土地の環境、風景を大きく変えてしまう可能性がある。本県は、国内の風力発電の先進地として、色彩、形状など、風景を重視するデザイン監修者をプロジェクトに参画させ、地域住民からの理解と周辺環境への配慮の姿勢を示した「秋田モデル」を作るべきだ。

4. IT産業など異業種との連携による木材産業の育成

国の木材利用促進に向けた取り組みが進展する中、都市の木材需要に応えるには、従来からの木材産業から脱却して、それぞれの企業の強みを活かしたつながりと企業合併等による集約化を図るべきだ。木造に特化したアセンブリ産業（完成品を生産する組み立て工場）の育成が望まれる。

本県は国内では稀な木材高度加工研究所と、その優れた人材を活かして、産学官で市場調査や事業可能性調査を行い、中核をなす企業を選定、发掘して支援を集中して行うべきだ。

5. 木材流通システムの船頭事業の実施を

複雑な重層的流通システムから、より透明性の高いシンプルな木材流通システムに転換を目指すべき。そのためにはIT産業など異業種のノウハウを導入して効率的な木材供給手段を構築する必要がある。

6. 稲作の農地集約化と農業の6次産業化の推進を

農家の高齢化が一層進む中、生産意欲が高い農家・法人への農地集約が必要だ。大規模化によるメリットを生かし、安価でも収益を上げられるコメの6次産業化をさらに推進するべきだ。コロナ禍で業務用米需要が落ち込む中、米菓用やパックご飯など加工食品の開発・生産に加え、新たな販路開拓を含めたコメ戦略が求められる。

III. 地方自治体の財政軽減と抑制に向けた官民の連携

1. 民間活用による自治体業務の技術補完を

公共工事の「品質確保促進法」の理念を実現することが困難な状態がうかがえる。発注者（自治体）の業務の集中、災害等緊急時の量的・質的な補完業務として、民間と連携して、行政のコスト縮減とスリム化を図り、財政の負担軽減につなげることを望む。

2. 官民連携を加速する「地域プラットホーム」の形成

PPP（行政の支援を得ない公民連携）／PFI（民間資金活用による社会资本整備）の両事業の具体的な案件形成のため、官民連携に向けた多角

ロータリーは機会の扉を開く

的な支援が必要。

官民連携事業は、民間投資の拡大による経済成長が期待できるほか、民間事業者の新たなビジネスチャンス。

地域住民のサービス水準向上にも期待でき、結果として地方自治体の費用負担軽減や適切な公共サービスの維持につながる。

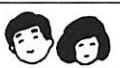
3. 産・学・官の技術開発による社会インフラ 老朽化への対応

建設業界にとっては、新規事業が大幅に少なくなる事が予想される。インフラメンテナンスの技術開発や工法などを、単独または産・学・官・金共同で協議会を作つて自ら技術開発に取り組む姿勢が求められる。

戦後造られた道路、橋、上下水道、公共建築物等の社会インフラが半世紀を経て急速に老化している。インフラの維持管理、公共サービスの持続的提供の対策に応える。

国際ロータリー第2540地区 2020-2021年度 地区大会

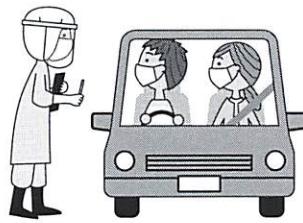




ニコニコボックス

藤枝 信夫 会長

昨日より、「かかりつけ医」による診療相談をドライブスルー方式で開始しましたので、ニコニコではないですが、ニコニコします。



・20クリスマス家族例会

☆日時 2020年12月15日(火) 18:30~

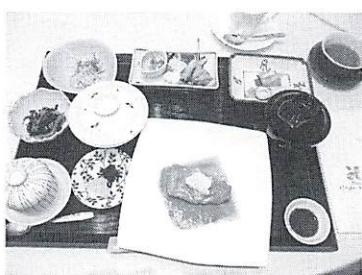
時間変更ですので昼の例会はございません。

☆会場 秋田キャッスルホテル

☆会費 ご夫人(大人) 3,000円
中学生以上 2,000円
小学生以下 無料

※なお会員の皆様には協賛品の提出にご協力をお願い致します。

【本日のメニュー】



前 菜	煮物 (サバ味噌)
刺 身	御 飯
小 鉢	味噌汁
サラダ	漬 物
茶碗蒸し	

<例会変更と休会のお知らせ>

11月25日(水)	秋 田 R C	(休会)
11月27日(金)	秋田中央R C	(休会)
12月16日(水)	秋 田 R C	
12月17日(木)	秋 田 南 R C	
12月18日(金)	秋田中央R C	
12月21日(月)	秋 田 東 R C	
12月25日(金)	秋田中央R C	
12月28日(月)	秋 田 東 R C	(休会)
12月30日(水)	秋 田 R C	(休会)
1月6日(水)	秋 田 R C	(休会)

*休会でもサインメイクはできます

*当クラブは12月28日(火)・1月5日(火)は休会です

出席報告

会員数 49名	本日の出席数	19名	出席率 40.43%
			休 会 1名
			出席免除 1名
10月27日 の修正	出 席 数 修正出席数	30名 42名	修正出席率 89.36%
10月27日の欠席者 5名			休 会 1名 出席免除 1名